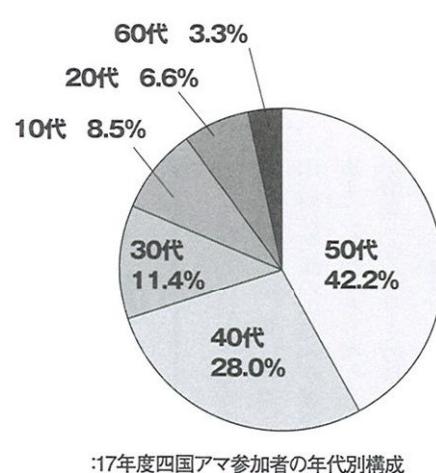


ゴルフ場の入場者  
7年ぶりに増える  
昨年度四連加盟クラブ  
平成十七年度の四国のゴルフ場  
入場者数が七年ぶりに増加した。  
四国ゴルフ連盟のまつめによると加  
盟60クラブの昨年度入場者数は  
230万3026人、対前年比で  
2.6%（5万8926人）伸びた。  
平成九年度に290万人を超えた  
入場者総数は、ゴルフ不況の深刻

コース査定完了へ  
四連が新年度定時総会  
ゴルフ場の入場者  
7年ぶりに増える  
昨年度四連加盟クラブ  
平成十七年度の四国のゴルフ場  
入場者数が七年ぶりに増加した。  
四国ゴルフ連盟のまつめによると加  
盟60クラブの昨年度入場者数は  
230万3026人、対前年比で  
2.6%（5万8926人）伸びた。  
平成九年度に290万人を超えた  
入場者総数は、ゴルフ不況の深刻

# 高齢化進む四国の競技人口

40代以上84%  
30代以下16%



17年度四国アマ参加者の年代別構成

「参加全選手の84%が40代以上で、30代以下の若手世代は16%に過ぎなかつた」

四国ゴルフ連盟が昨年度の主催競技参加者の年代別構成を調べたところこんな結果が出た。若い世代のゴルフ離れの深刻さを改めて浮き彫りにした数字だつた。

四連のメジャー競技である四国アマ

マ選手権だけを見ても、30代以下が26.5%（うち20代はわずか6.6%）。これに対し40代以上が73.5%（うち50代42.2%、40代28%）と、ゴルフ競技の分野でも高齢化が進んでいることを裏付けていた。（グラフ参照）

こうした極端な「老高若低」現象

は少子高齢化社会の進展に伴う変化であり、いわゆる「団塊の世代」の

リタイアが始まる来年以降はさらに「老高」が進むものと予想される。

しかし、競技人口の高齢化を嘆く必要はない。最近の老年世代は男女を問わず体力、気力とも充実、経済的に豊かな上に健康の関心も高い。

健康の維持、増進に役立つゴルフの特性を考えれば、老年世代に最適のスポーツといえよう。

特に団塊世代はゴルフの高度成長

を支えた人たちで、競技志向のゴルフ

と夏から秋にかけての好天続きなど。しかし加盟クラブが増えたのに異常寒波がブレイキとなって、四県そろってのプラス達成には至らなかつた。

このところ地方経済にもようやく景気の底打ち感が広がり、昨年度まで減り続けていたゴルフ入場者が増加に転じた。とはいえ景気の先行きは依然、不透明である。従つて経済動向に左右されることなくゴルフ活性化に向けた対応策に業界

アーモン少くない。リタイア後の「団塊」をゴルフにつなぎ止め、新規参入に成功すればゴルフ人口の底上げは可能だろう。

とはいっても「若低」は競技力のレベルアップの視点からも好ましくない。今は元気な中高年もやがては競技の場外に去る。その穴埋めをする若年層を育てておかないと競技が

成功だらう。

ゴルフも最初はこれと同じよう简单な規則でした。「ボールはあるがままに打つこと」これが唯一の規則だったので。その後だんだん簡単な法律を発布するのです。

ゴルフは英語とアメリカ語では違つてますが、現在では

近のゴルフはペーパー（規則書）です

させました。①人を殺すな②盗みをするな③姦することなけれ。反

した者は死罪、と。つまり最も

簡単な法律を発布するのです。

ゴルフは全部ホールマッチな

マッチだけを見ても、30代以下が

26.5%（うち20代はわずか6.6%）。これに対し40代以上が73.5%（うち50代42.2%、40代28%）と、ゴルフ競技の分野でも高齢化が進んでいることを裏付けていた。（グラフ参照）

こうした極端な「老高若低」現象

は少子高齢化社会の進展に伴う変化であり、いわゆる「団塊の世代」の

リタイアが始まると、来年以降はさらに「老高」が進むものと予想される。

しかし、競技人口の高齢化を嘆く必要はない。最近の老年世代は男女を問わず体力、気力とも充実、経済的に豊かな上に健康の関心も高い。

健康の維持、増進に役立つゴルフの特性を考えれば、老年世代に最適の

スポーツといえよう。

特に団塊世代はゴルフの高度成長

を支えた人たちで、競技志向のゴルフ

と夏から秋にかけての好天続きなど。しかし加盟クラブが増えたのに異常寒波がブレイキとなって、四県そろってのプラス達成には至らなかつた。

このところ地方経済にもようやく景気の底打ち感が広がり、昨年度まで減り続けていたゴルフ入場者が増加に転じた。とはいえ景気の先行きは依然、不透明である。従つて経済動向に左右されることなくゴルフ活性化に向けた対応策に業界



2006.4.15  
第22号

発行 四国ゴルフ連盟

〒790-0921  
愛媛県松山市福音寺町55-1  
電話 089-990-3260  
FAX 089-990-3261



と国家の法律のように事細かく決められました。読むのさえ大変なルールブックのほかに判例集といふ膨大な本があります。

昔のゴルフは全部ホールマッチなものもありますが、敵国を占領したとき三条の法を掲げて民心を安定させました。①人を殺すな②盗みをするな③姦することなけれ。反した者は死罪、と。つまり最も簡単な法律を発布するのです。

ゴルフも最初はこれと同じよう簡単な規則でした。「ボールはあるがままに打つこと」これが唯一の規則だったので。その後だんだん簡単な法律を発布するのです。

ゴルフは英語とアメリカ語では違つてますが、現在では近のゴルフはペーパー（規則書）です

昔のゴルフ規則は英國とアメリカでは違つてますが、現在では英國のR & Aとアメリカゴルフ協会が話し合つて規則を作り、それを世界中のゴルフ界が購入して使っているのです。オリンピックの年に両者が話し合つて大改編しています。

カッショーンのほか会場をゴルフコースに移してバンカーやグリーンなどで起きやすい判例の実地講習を受けた。

最後はR & Aのルールテストで締めくづたが受講したJGAや全国地区連の競技委員らは「とてもわかりやすくて勉強になった」と好評だつた。

その後だんだん簡単な法律を発布するのです。

ゴルフは全部ホールマッチな

マッチだけを見ても、30代以下が

26.5%（うち20代はわずか6.6%）。これに対し40代以上が73.5%（うち50代42.2%、40代28%）と、ゴルフ競技の分野でも高齢化が進んでいることを裏付けていた。（グラフ参照）

こうした極端な「老高若低」現象

は少子高齢化社会の進展に伴う変化であり、いわゆる「団塊の世代」の

リタイアが始まると、来年以降はさらに「老高」が進むものと予想される。

しかし、競技人口の高齢化を嘆く必要はない。最近の老年世代は男女を問わず体力、気力とも充実、経済的に豊かな上に健康の関心も高い。

健康の維持、増進に役立つゴルフの特性を考えれば、老年世代に最適の

スポーツといえよう。

特に団塊世代はゴルフの高度成長

を支えた人たちで、競技志向のゴルフ

と夏から秋にかけての好天続きなど。しかし加盟クラブが増えたのに異常寒波がブレイキとなって、四県そろってのプラス達成には至らなかつた。

このところ地方経済にもようやく景気の底打ち感が広がり、昨年度まで減り続けていたゴルフ入場者が増加に転じた。とはいえ景気の先行きは依然、不透明である。従つて経済動向に左右されることなくゴルフ活性化に向けた対応策に業界

## 06年シードン開幕へ 5月女子アマ6月四国アマ



R & A規則を学習  
東京でスクール初開催



熱心に受講する参加者たち

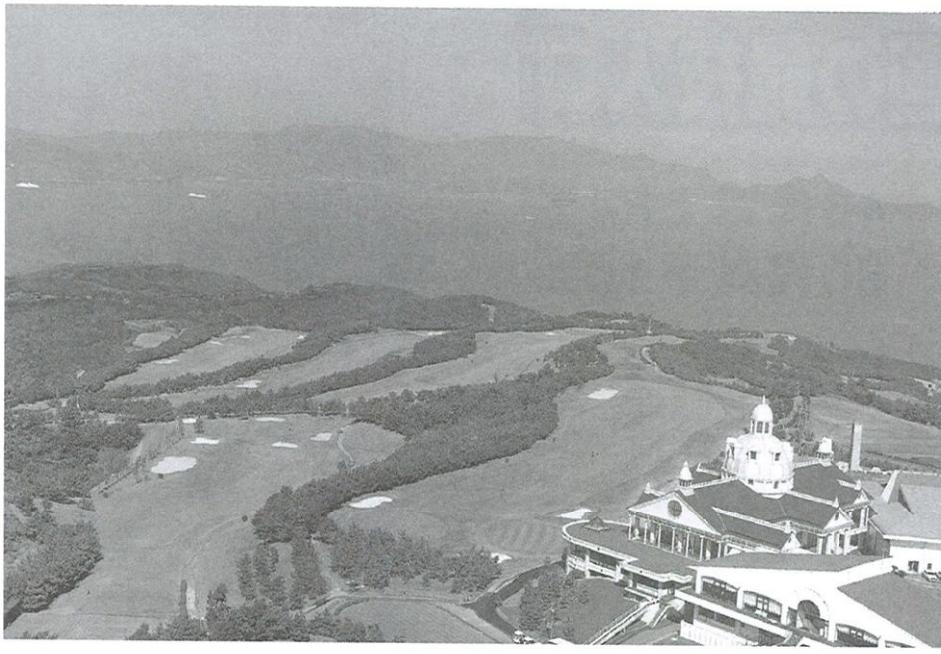
ジュニア月例を新設  
1月から徳島CC

ゴルフ場独自のジュニア育成事業を展開している徳島CCは、今年1月から毎月回、小中学生の月例杯ゴルフの開催を始めた。四国では初めての試み。

ゴルフ場独自のジュニア育成事業として「四国小中学生ゴルフ大会」を新たに設け、第一回大会を8月22日に新居浜CCで開く。

すでに平成十五年度から四国4県ゴルフ協会・連盟による各県小学生大会が開催され、参加ジュニアも年々増えている。これを受けて四国大会新設に踏み切ったもの。

ゴルフ場独自のジュニア育成事業として「四国小中学生ゴルフ大会」を新たに設



クラブハウスを中心に広がるアウトコース群。前面に小豆島と瀬戸内海。

その上、全ホールから瀬戸内海が  
見渡せるように設計されているの  
で、オリーブの小豆島、名勝津田の  
松原が眼下に、また晴天の日には西  
の山並みが遠望できます。これら360度の大パノラマ  
が借景となるコースの景観を引き立てる  
ため、当クラブの喜多俊弘ハンドイキャッ

世界有数の山林国日本のゴルフ  
場は緑に満ちあふれています。テレビ  
などで見るスコットランドの荒涼  
としたリンクスコースに比べると、箱  
庭のように美しく感じられるでしょう。

県都高松市から東へ20キロ、三方  
を播磨灘に囲まれた小高い丘陵地  
に広がる当讃岐カントリークラブも  
手入れの行き届いた芝生と松林の  
緑がいっぱいです。コース内に根を張  
る松は古木を含め一万本を超えてい  
ます。

その上、全ホールから瀬戸内海が  
見渡せるように設計されているの  
で、オリーブの小豆島、名勝津田の  
松原が眼下に、また晴天の日には西  
の山並みが遠望できます。これら360度の大パノラマ  
が借景となるコースの景観を引き立てる  
ため、当クラブの喜多俊弘ハンドイキャッ

# おらが俱楽部でござる

## 其の二十三 讀岐カントリークラブ



「風光明媚」「白砂青松」といった美しい風景をきっと堪能できると確信します。

もともとこの地は戦後、開拓農家が切り開いたイモ畑だったそうです。  
その後、眺望を生かしたレジャー施設を経て、昭和49年にゴルフ場がオープンしました。丘陵地に

あるため水不足で幾度も芝生を枯らしたり、台風被害にも遭いました。  
平成の始め頃に蔓延した松食い

虫防除にはずいぶん苦労しました。  
開場してから今年で32年、ホール

を区切る松は年輪を重ねて立派な  
松林に成長しました。改良、改造を

繰り返したコースも風格が出てき  
たと自負しています。

特に4番ロングは605ヤードと  
飛ばし屋でも難しい名物ホール。豪  
快なプレーが満喫できるでしょう。一  
方、インコースは距離こそ短いが池  
越え、谷越えと変化に富み頭脳的  
な攻めが必要です。

さらに当市には四国霊場86番札  
所の志度寺、同87番長尾寺、そして  
結願寺の88番大窓寺がございま  
す。ご来場の折は、これら名所旧跡  
にも足を伸ばされてはいかがでしょ  
す。

さくらに周辺5町が合併、誕生した  
新しい市ですが、市内には縄文弥生  
時代の遺跡、古墳群が散在、この  
地方が古代から拓けていたことを  
裏付けています。

また、江戸期の発明家平賀源内  
の生誕地(志度町)でもあり、源内  
の旧邸隣の遺品館に発明品などが  
展示されています。

展示されています。